

# 2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

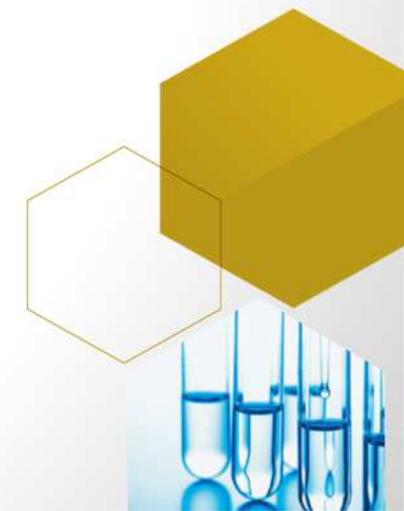
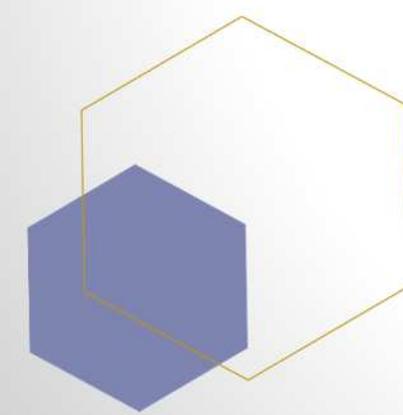
---



日本高純度化学株式会社

証券コード：4973

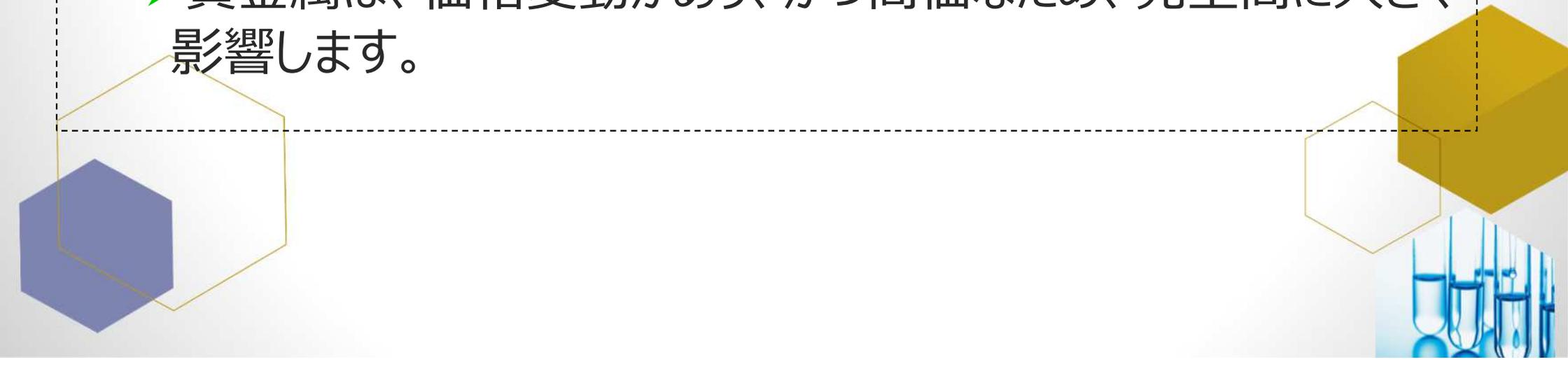
2023年1月27日





# 決算の概況

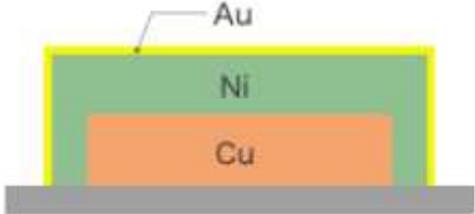
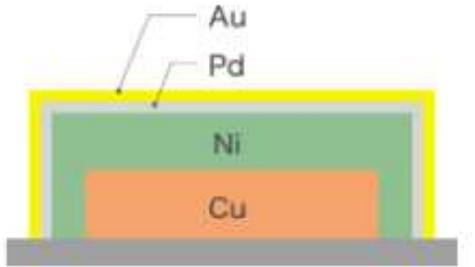
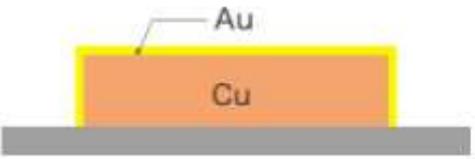
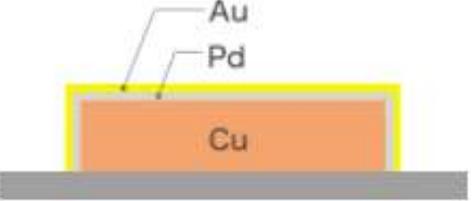
## (注) 当社業績の見方のポイント

- 売上高は、薬品と一緒に貴金属を売る場合と、売らない場合とで大きく変動します。
  - 貴金属は、価格変動があり、かつ高価なため、売上高に大きく影響します。
- 

# 用語説明①（めっき方式）

用語	用途	説明
電解めっき (電気めっき)	—	金属などの表面に電気を流してめっきする方法
純金めっき	プリント基板 半導体搭載基板	高純度な純金めっき
硬質金めっき	コネクタ プリント基板	合金成分を入れて硬くした合金めっき
パラジウム (Pd) めっき	リードフレーム コネクタ	金めっきの下地めっきとして使用される PPFはPre Plated Lead frameの略
無電解めっき	—	電気を流さず化学反応によりめっきする方法
置換めっき	プリント基板	金属ごとの溶けやすさ（イオン化傾向）を利用し、下地金属の表面を置き換えて形成するめっき方法
還元めっき	プリント基板	還元剤による化学反応を利用し、厚く形成できるめっき方法

# 用語説明②（めっきプロセス）

用語	説明	めっき層構成
ENIG	銅上に無電解ニッケルめっき及び置換金めっきをする方法 Electroless Nickel Immersion Goldの略 層構成はCu-Ni-Au	
ENEPIG	銅上に無電解ニッケルめっき、無電解パラジウムめっき及び置換金めっきをする方法。Electroless Nickel Electroless Palladium Immersion Goldの略 層構成はCu-Ni-Pd-Au	
DIG	銅上に置換金めっきを直接する方法。Direct Immersion Goldの略。Niめっきを省いているためENIGに比べファインピッチ対応が可能。層構成はCu-Au	
EPIG	銅上に無電解パラジウムめっき及び置換金めっきをする方法。Electroless Palladium Immersion Goldの略 層構成はCu-Pd-Au	

# 製品ラインアップ ～ラインアップ拡充と新分野開拓～

めっき方式		用途	製品ラインアップ	
電解	純金		① 粗面上でも均一な膜厚が得られる純金めっき ② 硬度の高い純金めっき	
	硬質金 (合金)		マイクロコネクタ用省金硬質金めっき	オーロブライト BAR7
	パラジウム (Pd)		PPF用薄膜パラジウムめっき	パラブライト NANO2
無電解	置換金		中～高リンニッケルで使える置換金めっき 下地ニッケルの腐食が少ない置換金めっき ニッケル不使用置換金めっき	IM-GOLD IB2X IM-GOLD CN IM-GOLD PC
	還元金		亜硫酸金を使った薄膜還元金めっき シアン化金を使った薄膜還元金めっき	HY-GOLD HY-GOLD CN
	還元Pd		ENEPIG用還元パラジウムめっき ニッケル不使用還元パラジウムめっき	ネオパラブライト 2 ネオパラブライト DP

## 新分野

卑金属（銅、スズ、ニッケル）  
合金めっき 後処理剤など

# 2023年3月期 第3四半期決算概況

## 電子部品業界の状況

- ウクライナ情勢の長期化、インフレの高止まり感など不透明な経済環境の継続等により、クラウド/データセンター向けや産業機器、工場、医療などのデジタルトランスフォーメーション向け I o T デバイスにおいて投資を控える動き
- スマートフォンや P C 向け電子部品は在庫調整による減産が継続
- 車載用電子部品については、引き続き自動車の生産調整が見られ回復基調には至らず

## 当社決算の概況

- プリント基板・半導体搭載基板用めっき薬品  
→ 第2四半期から引き続き、中国および韓国メーカーのスマートフォン向けの不振、P C やメモリ用途での減産の影響を受け、低水準が継続
- コネクタ用めっき薬品  
→ 産業機器向け、通信インフラ向けで堅調に推移したものの、中国および韓国メーカーのスマートフォン向けの減産の影響等を補えず、低迷が続く
- リードフレーム用めっき薬品  
→ 第2四半期から引き続きの中国および韓国メーカーのスマートフォン向け、P C 用途の減産の影響を受けたが、一部の車載向けや民生向けの堅調な需要に支えられ、微減に留まる

# 2023年3月期 第3四半期決算概況

(単位：百万円、%)

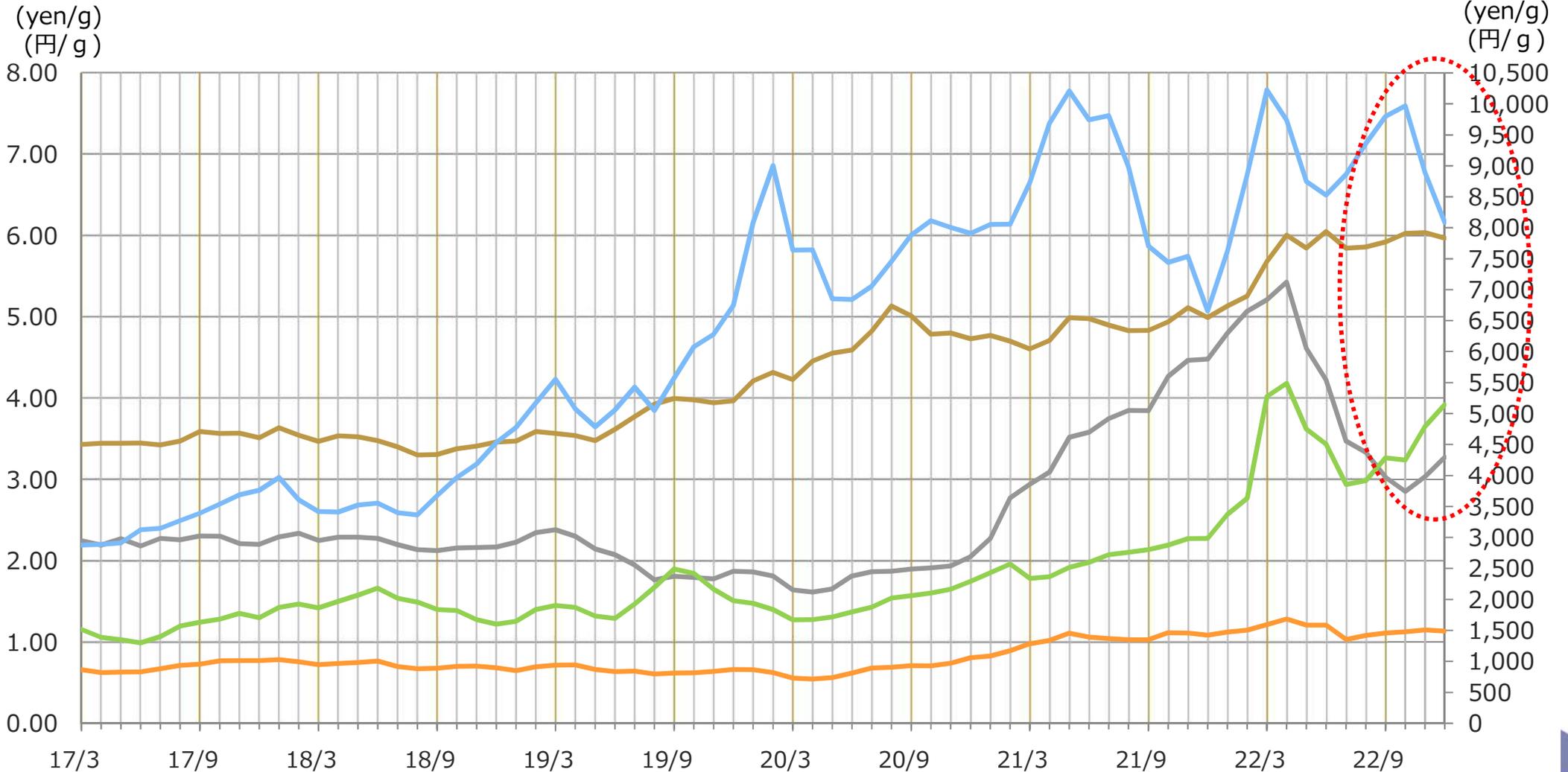
	2022/3期 1Q~3Q	2023/3期					増減率
		1Q	2Q	3Q	1Q~3Q		
売上高	14,278	5,050	4,004	4,092	13,146	△7.9	
営業利益	884	282	137	95	514	△41.8	
経常利益	1,017	374	143	178	696	△31.6	
四半期純利益	749	278	102	115	496	△33.7	
1株当たり 四半期純利益	128.34円	47.52円	17.45円	19.89円	84.87円	—	

- スマートフォン、P C向けの収益性が高いメモリ用途のプリント基板及びコネクタの出荷減の影響が大きく、前年同期比（第3四半期累計）で売上高△8%、営業利益△42%、経常利益△32%の減収減益

# メタル相場推移

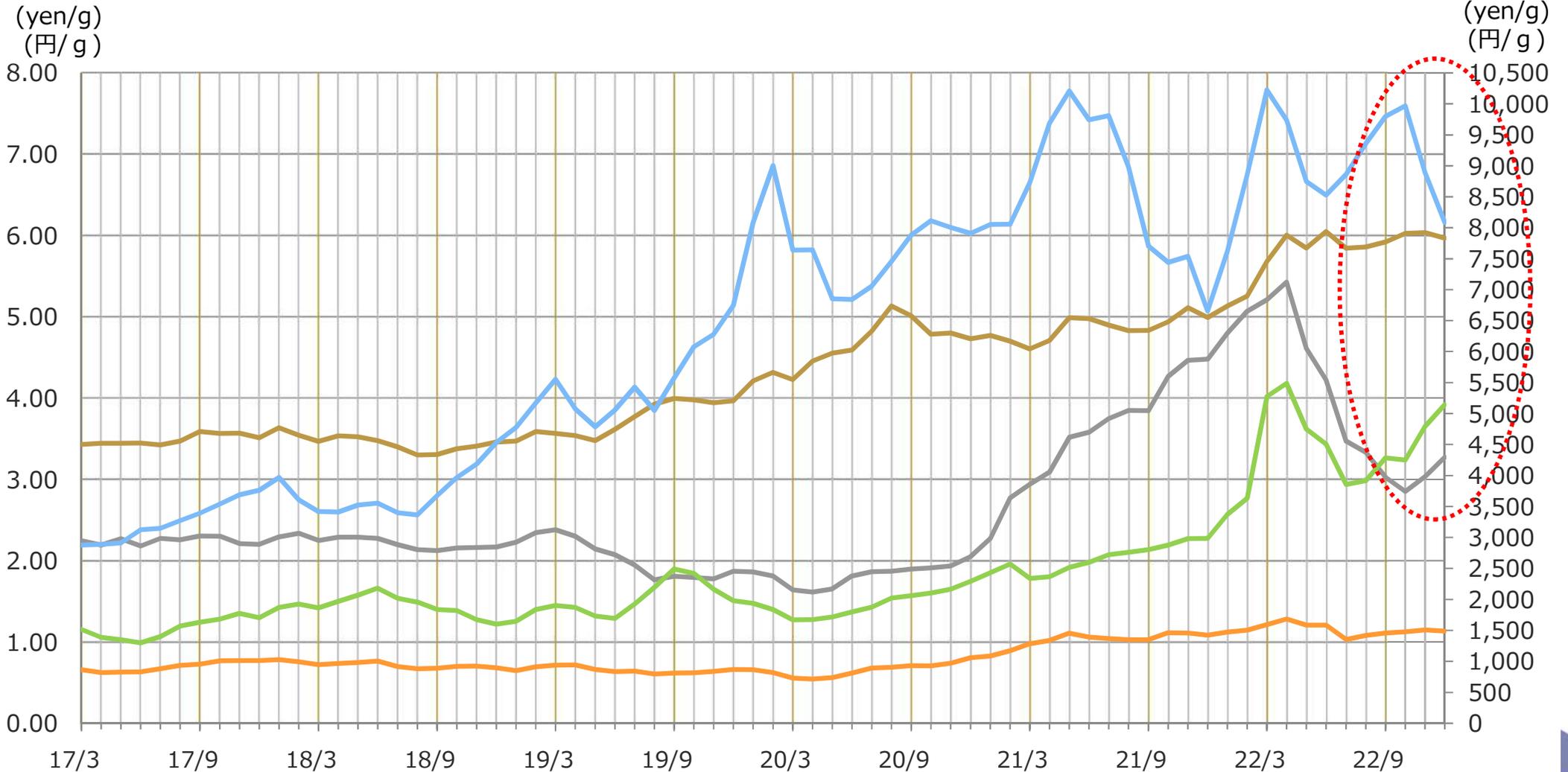
## Prices of copper, tin and nickel 銅、スズ、ニッケル価格

Copper 銅  
Tin スズ  
Nickel ニッケル

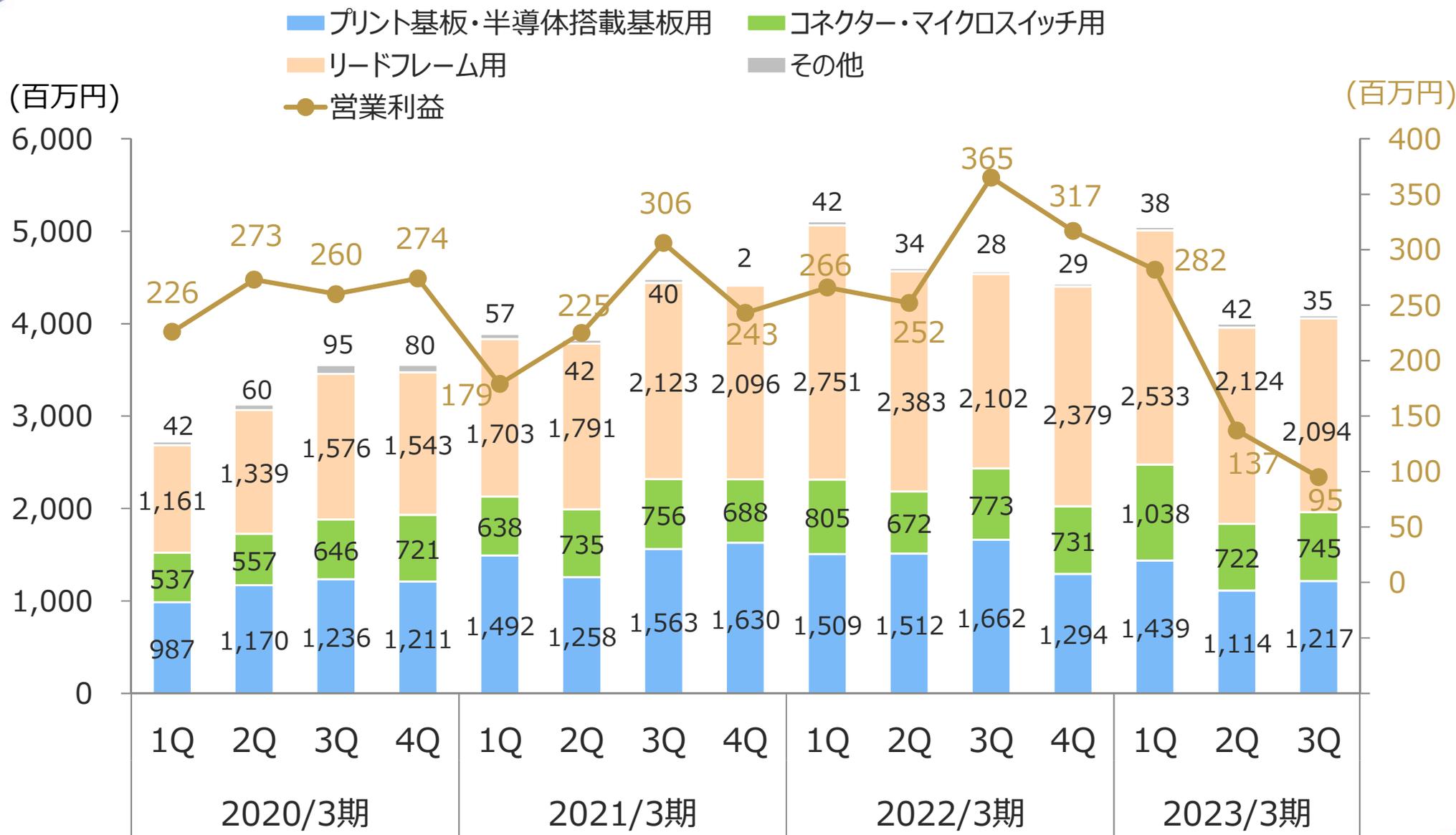


## Prices of gold and palladium 金、パラジウム価格

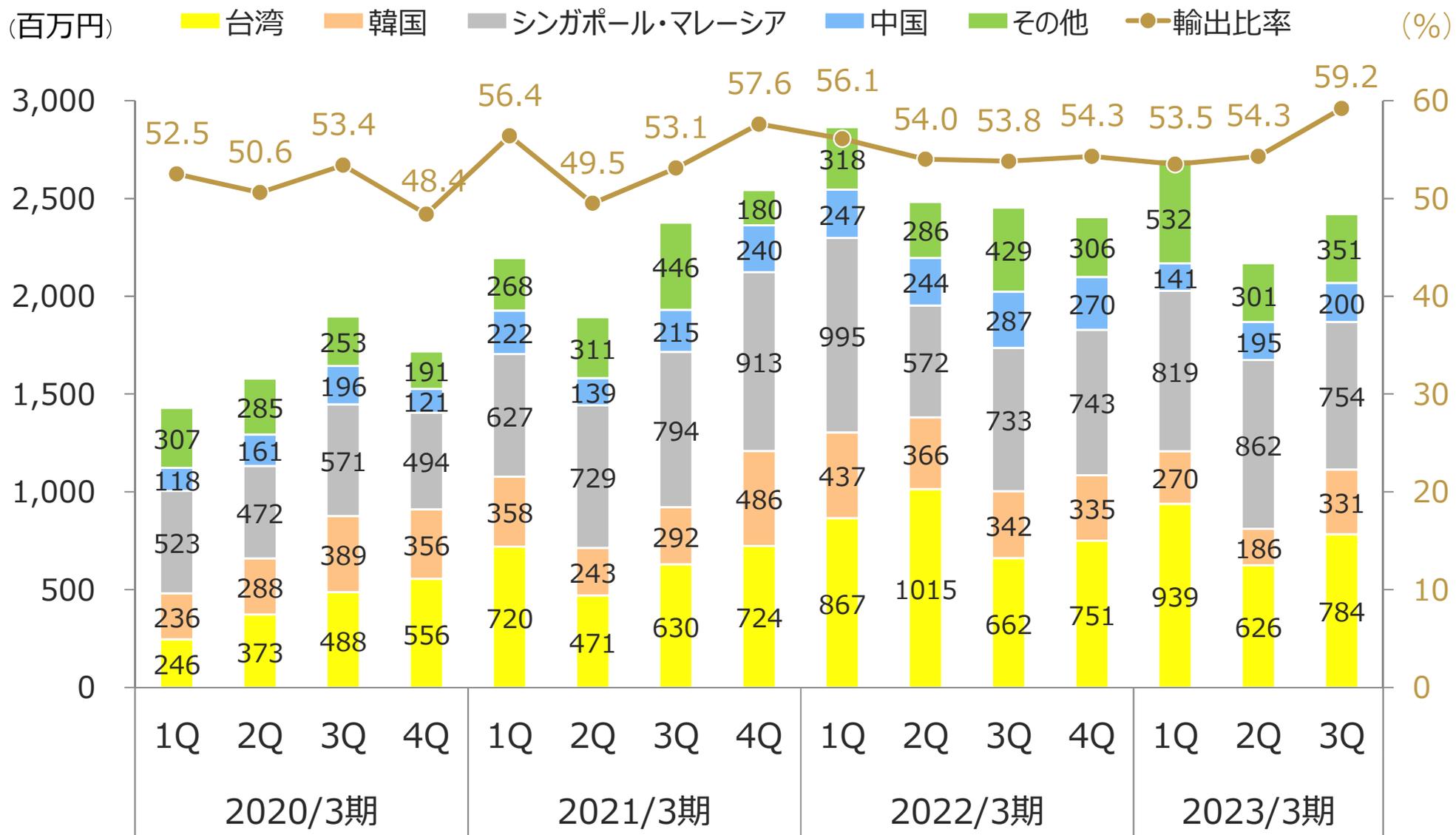
Gold 金  
Palladium パラジウム



# 売上高・営業利益の推移（四半期ベース）



# 輸出地域別売上高の推移（四半期ベース）



# 2023年3月期 通期の見通し

(単位：百万円、%)

	2022/3期 A	2023/3期						
		1Q~3Q B	通期見込み (2022年10月) C		C/A	B/C		
			構成比	前期比	達成率			
売上高	18,714	13,146	18,500	100.0	98.8	71.1		
営業利益	1,201	514	800	4.3	66.6	64.3		
経常利益	1,339	696	950	5.1	70.9	73.3		
当期純利益	974	496	680	3.7	69.8	73.0		
配当	90円	80円	80円					

- クラウド/データセンターやデジタルトランスフォーメーション向け I o T デバイスへの投資控えとスマートフォンや P C 用途での在庫調整による減産は継続の懸念
- 一方で、ゼロコロナ政策の転換による中国経済の回復期待、また一部の車載向け等を中心に需要回復の傾向が見られることから、一層の販促に努め、2022年10月公表の通期見込みは変更せず
- 配当については、公表通り、年間80円（うち中間40円）とする

# 株主還元（2022年度）

## 基本方針（FY2022-2024）

- 長期的な成長と財務健全性のバランスを取る
- 業績及び将来の事業展開と経営基盤強化に必要な内部留保資金等を総合的に勘案して継続して安定した配当を目指す
- 配当性向 50%以上（DPSは可能な限り減配を回避） + 機動的な自己株式取得

## 自己株式の取得

2022年10月25日開催の取締役会の決議によって取得した自己株式の取得内容

- （1）取得した自己株式の総数..... 120,000株
- （2）株式の取得価格の総額..... 297,544,800円
- （3）取得期間..... 2022年10月26日 ~ 2023年1月13日

## 中間配当の実施

2022年10月25日開催の取締役会の決議によって実施した中間配当の内容

- （1）中間配当による配当金の総額..... 234,835千円
- （2）1株当たりの金額..... 40円
- （3）支払請求の効力発生日及び支払開始日..... 2022年12月1日

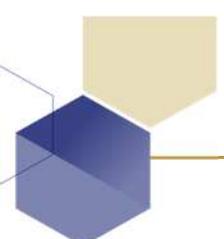
# 補足資料： 会社紹介

## 沿革

- 1971年 7月 会社設立
- 1999年 11月 MBOを実施
- 2002年 12月 JASDAQ市場に上場
- 2004年 3月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年 3月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2019年 2月 一般財団法人JPC奨学財団設立
- 2020年 4月 公益財団法人JPC奨学財団に認定
- 2022年 4月 東京証券取引所プライム市場に移行

## 事業概要

- 電子部品業界の発展を支える電子材料を供給するファインケミカル企業
- 事業のターゲットを貴金属めっき薬品に絞り世界シェアトップクラス
- 変化の激しい業界にスピーディーに対応できる販売体制と技術サポート体制を構築
- 大規模な製造プラントを必要としないファブレス企業
- 電子部品の接続に用いる貴金属の使用量を最小限に抑える技術を提供し、資源の有効利用に貢献



# 注意事項・免責事項

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2022年12月時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画部

<https://www.netjpc.com>